

令和4年度久多美コミュニティセンター自主企画事業報告

専門部名	事業名	内容	開催日
総務部	久多美コミュニティセンターだより	情報の周知と報告 ホームページの更新	毎月第2・4木曜日発行
	初夏のジオとたたらの旅 	5年間をかけて四十二浦巡りを行い地球の成り立ちや人々の暮らしについて学習した。今回は「出雲平野の成り立ち」として、奥出雲のたたら製鉄との深い関わりについて現地での説明を聞き、長い年月をかけて完成した出雲平野の歴史を学習した。	6月18日(土) 19人 
	ふるさと久多美再発見の旅 	令和4年3月に発行したガイドブック「ふるさと久多美再発見の旅」を参考に、冊子監修者宍道正年さんによる久多美の歴史講座を行った。講演会終了後は、ふるさと久多美再発見の会代表西尾真さんを講師として、ガイドブックの中から4か所の現地説明会を開催した。この中には民家の敷地内にある石碑などもあり個人ではなかなか立ち入ることが出来ない場所もあった為、参加者からは「見学することが出来て良かった」との声が聞かれた。	3月23日(木) 21人 
壮年者部 青少年部	稲作体験 “もち米作りに挑戦！” 	さくら小5年生が地域の力を借りて田植えから稲刈りを行う年間を通じた事業。農業の機械化が進み児童ばかりでなくスタッフにとっても、手で行う一連の農作業は貴重な体験になっている。3年振りにEM泥団子作りも行い、環境作りの活動も行うことが出来た。収穫祭では干し稲わらでのしめ縄作り体験した。千歯こぎ体験では、実際に粃の脱穀を体験し、児童は興味津々だった。温かい地域の力が支えとなっている。 ① 田植えの事前授業 ② 田植え体験 ③ 稲刈り体験・EM泥団子作り ④ 収穫祭しめ縄作り体験 ⑤ 卒業生紅白餅贈呈	① 5月24日(火)34人 ② 5月30日(月)42人 ③ 9月29日(木)49人 ④ 12月14日(水)43人 ⑤ 3月3日(金)5人  
ふれあい交流部	フラワーアレンジメント教室 	毎年開催しアレンジメントはレベルアップしている。今回は大小の2つの島に花を生けるやり方を教わった。講座中は感染症予防対策をしながら参加者同士の交流も少しずつ見られるようになり、閉塞感の打破に繋がればよいと感じた。	12月28日(火)15名 

専門部名	事業名	内容	開催日
文化 部	歩こう！出雲神話～出西探訪～ 	「出雲の観光スポット」認定の神社や旧跡を巡りその歴史を学ぶため、古事記と出雲風土記に数多くの史跡が載る出西地区を訪ねた。出雲地方で暮らしてきた長い歴史に思いを馳せることが出来た。午後は八雲立つ風土記の丘学習館で、島根県内の古墳時代について詳しく学ぶことができた。	11月17日(木)20人 
	キラキラかわいい宝石石鹸づくり 	夏休み工作教室が感染症拡大予防のため中止となり、あらためて冬に開催した。宝石石鹸づくりは大人から子供まで幅広い参加があり、交流をしながら作品作りを行った。参加者は創作の楽しさを共有することができた。	2月25日(土)25人 
まちづくり部	久多美を 花いっぱいのにしよう！ ～花苗配布～ 	部員が種から育てた花苗を希望者に配布し、交流人口の増加を目標に活動している。久多美地区内で4軒のオープンガーデン見学の受け入れを行うことができた。今年は14ポットの花苗と1種類の種の配布を行った。 ①種まき ②植替え ③花苗配布 	① 9月28日(水) ② 10月17日(月) 10月18日(火) 11月2日(水) ③ 11月18日・19日 61人
	手芸教室 ① リース作り ② 機織り体験  	SDGs持続可能な消費と生産をテーマに手芸教室を行った。 ①「花いっぱいののにしよう」の参加者から花の提供を受けてドライフラワーにしてリース作りを行った。 ②着なくなったセーターを地域から提供いただき、再利用しシートクッション作りを行った。「作る責任・使う責任」を学習できた。	①8月28日(日)16人 ②10月1日(土)10人 
きらきら スマイル部	身近なSDGsを知ろう！ ～新エネルギーセンター見学～  	エネルギーセンターが新しくなったこともありエネルギー循環型施設を興味深く学び、環境意識の向上につながった。同日に行った三瓶山ウォーキングでは、姫逃池周辺を歩き、参加者の健康作りに役だった。	10月4日(火)23人 
	国際交流 ～もっと知ろう！学ぼう！ カナダの国～ 	過去7回行い好評だった多文化共生の学びの場を2年ぶりに開催した。今回はカナダ出身の講師を招き暮らしや気候について日本との違いなど学ぶことができた。調理実習も行い、試食はできなかったものの、講師や参加者同士楽しく交流も行った。	3月5日(日)15人 